

【正解又は解答例】

令和8年度 愛媛大学大学院農学研究科入学者選抜学力検査

(食料生産学専攻 食料生産経営学コース)

専門科目	フードシステム
------	---------

第 1 頁 (2 頁の内)

問 1 .

フードシステムの観点からの農業の6次産業化の意義は、①食の多様化、外部化、高付加価値化に対応したバリューチェーンを形成し、小売主導型流通システムにおける生産者側の主導権を高める、②サプライチェーンとバリューチェーンを統合してブランドの確立を図るといった視点からの説明が必要である。これら以外にも食と農の距離の拡大によって生じる経済的、社会的、環境的側面の課題を克服する観点からの論理的妥当性があれば正解とする。

農業生産者による加工・販売の統合化を難しくする要因については、ビジネスとして成立しやすい家族労働力等を中心とした小規模な加工・販売を超えた事業展開を進める場合を念頭にすると、①投資リスク、②加工、販売および経営多角化に対応するための専門知識の獲得または人材の確保、③不採算部門になりやすい川上・川下との調整などがあげられるが、これら以外にも論理的妥当性があれば正解とする。

【正解又は解答例】

令和8年度 愛媛大学大学院農学研究科入学者選抜学力検査

(食料生産学専攻 食料生産経営学コース)

専門科目	フードシステム
------	---------

第 2 頁 (2 頁の内)

問 2 .

農産物ブランドの品質を保証する制度には、①地理的表示制度 (GI)、②地域団体商標制度、③商標制度、④JAS 制度 (有機 JAS、ノウフク JAS など)、⑤GAP 認証があげられるが、これら以外についてもブランドの品質を保証する役割を果たしているものであれば正解とする。